

丹波市文化芸術推進基本計画

概要版

癒される

癒す

育む

活かす

文化芸術は「豊かな心」と「創造力」を育みます



令和2年2月

1. 計画策定の趣旨

人口減少や地方創生に向けた取組において、文化芸術やその活動が地域や人々の活力の源となり、人づくり・まちづくりを進めていく上で果たす役割は大きいものがあります。また、ICT技術等の革新により、生産活動が効率化される将来も遠くなく、これからは文化芸術やその活動がさらに重要になります。

これらのことから第2次丹波市総合計画(基本計画)の施策目標である「地域の文化芸術を守り、育て、活かそう」の目標をさらに明確にするため、文化芸術の推進に関する具体的戦略をもった中長期的な方向性を示す「丹波市文化芸術推進基本計画」を策定しました。

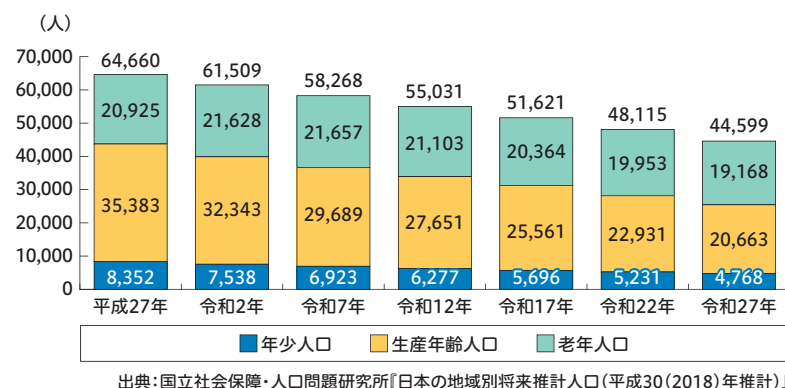
2. 計画の位置づけ・期間

- 次世代の文化芸術を担う人材や市民の文化芸術に対する関心を高め、心豊かな人材を育てる計画とします。
- 策定後10年間(令和2年度～令和11年度)の基本的な方向性を示します。

3. 丹波市の現況

本市では、人口減少が進んでおり、それに伴って地域の活力も衰退していくことが予想されます。

地域の活力の創出のためには様々な取組がありますが、その一つとして文化芸術活動の推進を行い、市民や地域の活性化と市外からの交流人口の増加を狙います。



4. 対象となる文化芸術の範囲

本計画における文化芸術の範囲は、原則として「文化芸術基本法(第8条～第14条)」に規定されているものを対象とし、本市の実情に即したものとします。

分野	範囲
芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊その他我が国古来の伝統的な芸能
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能
生活文化	茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化
国民娯楽	囲碁、将棋その他の国民的娯楽
文化財等	有形及び無形の文化財並びにその保存技術
地域における文化芸術	地域における文化芸術の公演、展示、芸術祭等、地域固有の伝統芸能及び民俗芸能

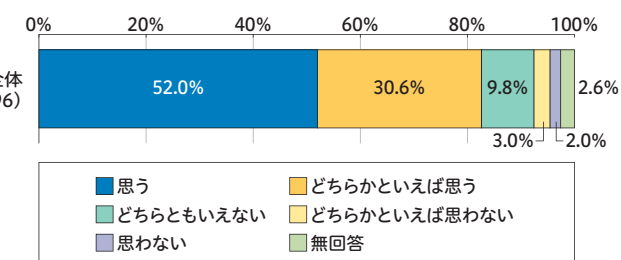
5. 市民アンケート調査から見えること

● 普段の生活の中で子どもたちの記憶に残るような体験

子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと思う人の割合が8割以上と非常に高くなっています。

市内には、多くの文化芸術があるため、新たに何かを創り出すのではなく、既存の文化芸術を活用しながら、記憶に残るような文化芸術に触れる機会をつくる必要があります。

子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと思うか



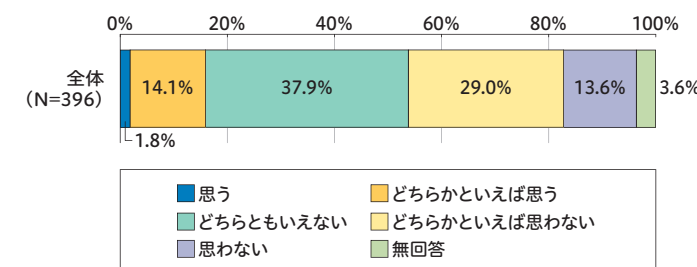
丹波市少年少女合唱団 定期演奏会

● 普段の生活の中で子どもが文化芸術に触れる機会の充実

8割以上の方が、子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと思っているのに対し、子どもの文化芸術に触れる機会が充実していると思う人の割合が2割以下と非常に低くなっています。このことは、文化芸術への関心が低いことや、地域の中で祭り等を体験できる機会が減っていること等が考えられます。

また、近年は子どもの習い事等が増え、文化芸術に触れる時間が少ないことも課題として考えられます。今後は、文化芸術に触れる機会を数多くつくる必要があります。

丹波市では子どもの文化芸術に触れる機会が充実していると思うか



市民アンケートより

子どもが文化芸術に親しむことにより、どのような効果を期待しますか？

- 1位 豊かな感性が生まれる…80.3%
- 2位 地域の文化を知り地域に愛着を持つようになる…55.6%
- 3位 コミュニケーション能力が高まる…46.2%

●文化財(技術を含む)の保存・継承・活用

市内には、多くの文化財等がありますが、伝統芸能・伝統文化と同様に、後継者不足による保存・継承・活用が課題となっています。

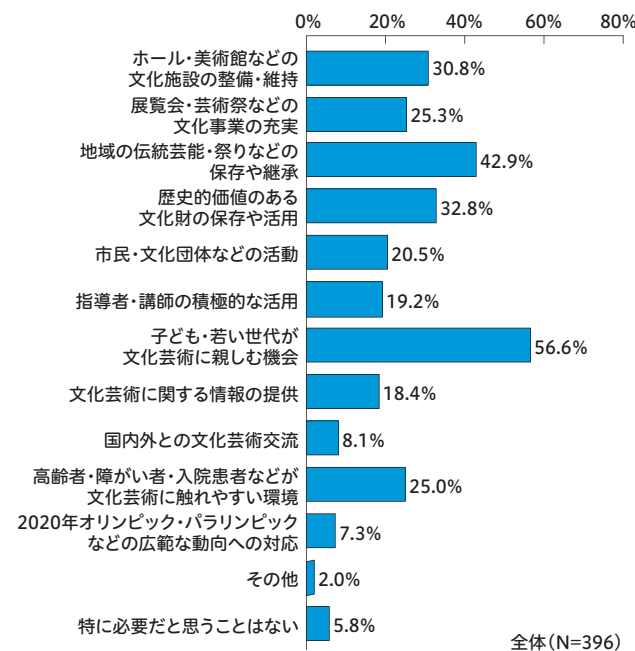
今後は、文化財等を積極的に活用することで保存や継承に繋げていく必要があります。

また、それぞれの文化財等の現況を把握し、保存や継承、活用をするための取組を進める必要があります。



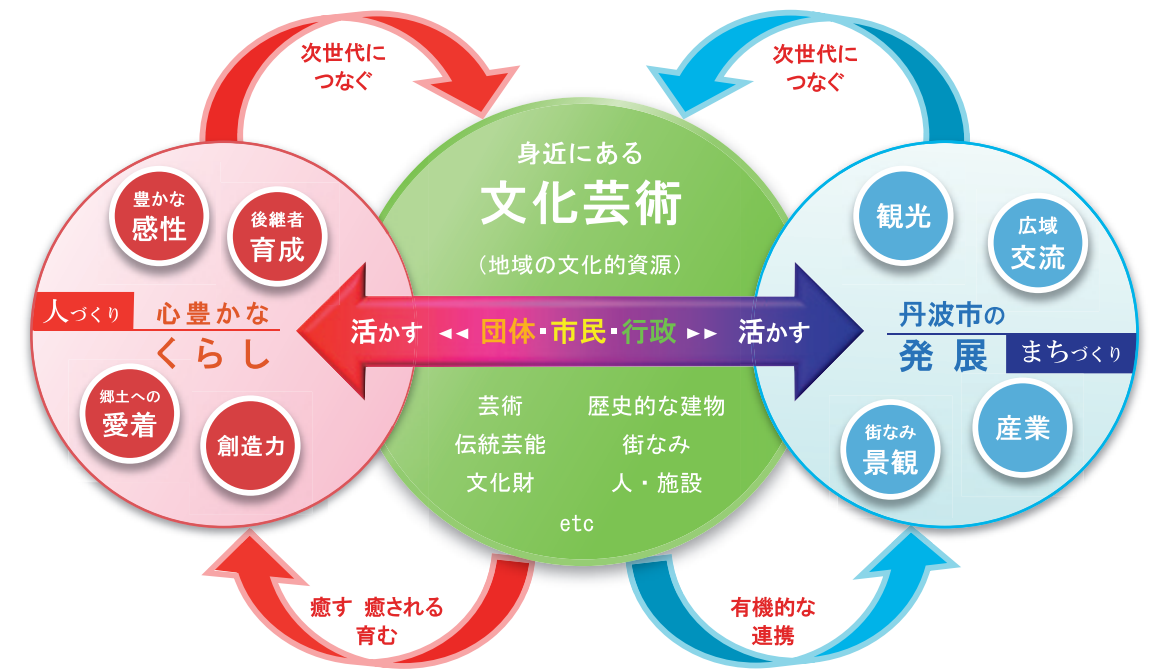
織田まつり 武者行列

文化的環境を充実させるまちづくりを推進するために必要なこと(5つ以内で複数回答)



6. 基本理念

多様な文化芸術を活かした次世代の人づくり・まちづくり



【基本計画・計画のスキームについて】

丹波市の多様な文化芸術は一朝一夕にできたものではなく、私たちの先人が長い歴史や暮らしの中で大切に育み、現在に引き継がれています。

文化芸術には、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人々の心の繋がりや多様性を受け入れることができる、心豊かな社会を形成する力があります。私たちには、この文化芸術をさらに発展させ、次世代へ引き継いでいく責務があります。

本計画における「文化芸術」という言葉は、芸術・伝統芸能・文化財・歴史的な建物・街なみ、また、文化芸術を支える人や、基盤となる文化ホールなど、非常に幅広い意味で使っています。

この多様な文化芸術を活かしていく主体は、「市民」「団体」「行政」で、この文化芸術を活かしていくためには、大きく分けて2つの方向があります。

1つは、文化芸術を人づくりに活かしていく方向と、もう1つは、まちづくりに活かしていく方向です。

まず、左側の人づくりや心豊かな暮らしに活かしていくことについては、3つの基本目標があります。

○1つ目は、市民の皆さんが文化芸術に親しみ、心を癒し、「豊かな感性」を育む等、暮らしの中で活かしていくということ。

○2つ目は、文化芸術活動そのものを楽しみ、また、「後継者の育成」等に活かしていくということ。

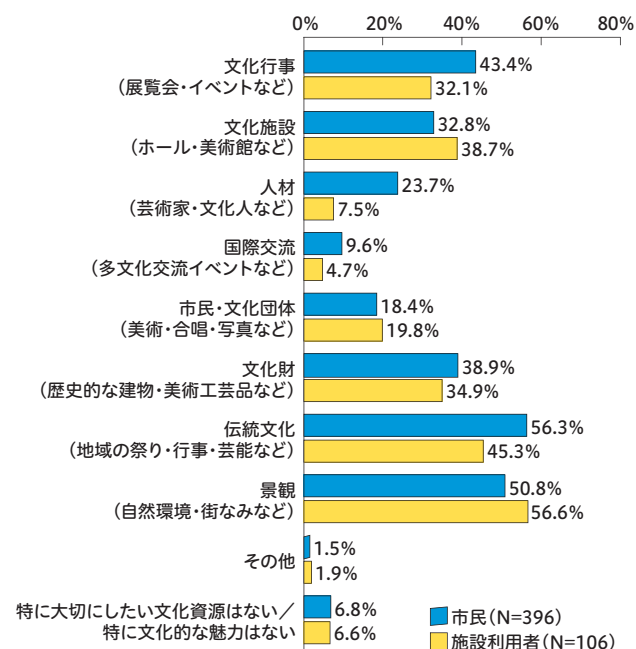
○3つ目は、文化芸術を活かし、将来を担う子どもたちの「郷土への愛着」「創造力」を育むということです。

一方、右側は文化芸術を地域資源としてとらえ、まちづくりに活かしていくことです。文化芸術を「観光」「広域交流」、そして「街なみなどの景観」「産業」等、「まちづくり」や本市の「発展」そのものに活かしていくというもので、今後、この方向性が益々重要になります。

このように、本市の身近な暮らしの中にある“今ある・今している”多様な文化芸術を活かしていくことで、次世代の人づくり・まちづくりに繋げていきます。

●大切にしたい文化的な資源や、丹波市の文化的な魅力

「市民」が大切にしたい丹波市の文化的な資源、「施設利用者」が思う丹波市の文化的な魅力(複数回答)



大切にしたい文化的資源として、「自然環境・街なみなどの景観」や「地域の祭り・行事・芸能などの伝統文化」の割合が高くなっています。特に、街なみや景観に関しては、SNS等での発信が注目を浴びていることから、文化的資源の新たな発掘手段として有効であると考えられます。

今後は、文化的資源の新たな発掘や活用方法を検討し、観光やまちづくりに活かす取組を進める必要があります。



常勝寺追儺式 鬼こそ

基本 目標1

文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

〈基本方針〉

- ①気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。
- ②市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。
- ③県と市の連携を進める。
- ④文化芸術の広域交流を進める。

課題

多様な文化芸術がある丹波市において、「生活の中での優先順位が低い」「興味・関心がない」ということが課題となっています。さらに、自分の住んでいる地域の文化芸術しか知らないということがあるため、市民自らが丹波市の文化芸術の魅力に気づく必要があります。

〈主な推進項目〉

- 丹波市（県を含む）ならではの文化ホールイベントの充実
- 市外のアーティスト等の舞台公演の開催
- 美術展・展覧会の充実
- 情報発信力の強化



ミュージカル公演 春日文化ホール

基本 目標2

文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

〈基本方針〉

- ①文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。
- ②文化芸術活動への参加促進を図る。
- ③団体同士の連携・協調を行う。
- ④文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。
- ⑤市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。
- ⑥丹波市（県を含む）ならではの舞台芸術等に磨きをかける。

課題

文化芸術活動においては、後継者・人材不足が喫緊の課題となっています。また、人口減少等により、その後継者がますます減少することが予想されます。今後は、文化芸術活動の魅力を発信し、後継者を育成する必要があります。

〈主な推進項目〉

- アマチュアアーティスト育成支援事業の推進
- 文化芸術活動の機会の提供
- 団体の交流の場づくりの推進
- 若い活動者の発表・展示が出来る環境の整備



和太鼓フェスタ ライフピアいちじま大ホール

〈基本理念〉

多様な文化芸術を活かした次世代の人づくり・まちづくり

今あるもの、今していることを活かしていく

基本 目標3

子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

〈基本方針〉

- ①普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。
- ②学校教育で、優れた文化芸術に身近に触れ、感じる力（まごころ・愛着・想像力・創造力）を育む。
- ③子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。

課題

市民アンケート調査の結果では、子どもの頃から質の高い文化芸術に触れる機会が必要だと考えており、現状の鑑賞・体験では、不十分であるということが課題となっています。子どもの文化芸術に触れる機会とともに、親子で体験できる機会の充実を図る必要があります。

〈主な推進項目〉

- 子ども・若者対象のイベントの開催
- 美術館の団体観覧の充実（PTA・子ども会等）
- アーティストの学校への派遣
- 親子で参加し交流できる場づくりの推進



0歳からのコンサート ヴァイオリン体験

基本 目標4

観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

〈基本方針〉

- ①伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。
- ②文化財（技術を含む）の保存・継承・活用を行う。
- ③文化的資源を新たに発掘・活用する。
- ④情報発信を積極的に行う。

課題

丹波市には伝統芸能・伝統文化・文化財が豊かにありますが、中には保存や継承が不十分なものがあります。今後は、情報発信を充実させ、多くの人に伝統芸能・伝統文化・文化財を知ってもらい、保存や継承のみならず、活用する機運を高める必要があります。

〈主な推進項目〉

- 伝統芸能・伝統文化・文化財等の観光資源としての活用
- 文化財等を活かした作品等の集積・展覧
- 歴史的な建物等の活用
- ビデオを活用したプロモーションの実施



竹田まつり（九社まつり）

丹波市の主な文化芸術・文化的資源



黒井城跡

黒井城跡からの日の出

戦国時代の山城跡と高い評価を受けている黒井城跡は、山頂からの展望が素晴らしいことから、「保月城」とも呼ばれています。国指定文化財に選ばれています。



青垣の翁三番叟

青垣の翁三番叟

室町時代末期から村人達が五穀豊穡、天下泰平を願って八幡神社に舞を奉納する行事です。青垣翁三番叟保存会(八幡神社祭礼保存会)で継承されています。国無形文化財や青垣・国選択民俗文化財に選ばれています。



シューベルティアードたんば

街角コンサート

毎年9月から11月にかけて、丹波市・丹波篠山市で開催される国際音楽祭のことです。街角コンサート、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサートなど、様々なコンサートが開催されています。



アマチュアアーティスト育成支援事業

ダンスフェスタ

一般募集のアマチュア出演者と、アマチュア舞台スタッフ(オペレータークラブZERO-IV)が創りあげる4ジャンル(バンド・ピアノ・ダンス・和太鼓)のフェスタです。



文化ホール施設

ライフピアいちじま大ホール

文化ホールは、市内に4施設あります。(県・民間を含む)コンサートや講演、国際音楽祭「シューベルティアードたんば」、アマチュアアーティスト育成支援事業などを開催しています。



生涯学習施設

山南住民センター

住民センターは各地域にそれぞれ1施設あります。生涯学習講座の開催や、各種団体活動、スポーツ推進事業の開催会場として利用されています。



俳人 細見綾子生家

細見綾子生家外観

俳人 細見綾子の生家を保存・公開しています。細見綾子は俳人 松瀬清々に師事し、昭和54年、俳句の世界では最高の賞「蛇笏(だこつ)賞」を受賞しました。作品は丹波への望郷の思いを込めた作品が多いと言われています。



美術館・資料館 図書館

植野記念美術館

美術館は、植野記念美術館の1施設、資料館は、市内に7施設あり、様々な美術展や展覧会を開催しています。図書館は、市内に6施設あります。

【発行】兵庫県丹波市 【問い合わせ先】まちづくり部文化・スポーツ課

〒669-4192 兵庫県丹波市春日町黒井496番地2 TEL:0795-74-1050 FAX:0795-74-2855